

中国人母語話者にとって漢字は難しい？ 日本と中国の漢字の意味の比較

Is Kanji difficult for native Chinese speakers ?
Comparison of the meanings of Chinese and Japanese Kanji

帝京大学 外国語学部 国際日本学科 岡ゼミ
宮木真波 小林藤子 トウ・センチク コウ・ウリン
指導教員 岡葉子

漢字を通常使用する中国人にとって、日本の漢字の学習は難しいことなのかについて記す。アンケートの対象者に、漢字の学習について5つの質問をし、その結果をまとめ、それらに対する考察を述べる。最後に筆者らが考える効果的な学習方法を記す

キーワード：漢字、漢字の誤用、中国語母語話者、学習方法

1. はじめに

筆者らが所属する国際日本学科では、日本人と留学生が互いに相手の文化を理解しながら学習している。その中で、日常的に漢字を使用している中国人にとっても、日本語を学ぶ上で日本語と中国語で意味が異なる漢字に困惑することが聞かれた。そのため、この国際豊かな学科の特徴を活かし、今回の発表では、「日本語と中国語における漢字の違い」について比較する。漢字学習において「どこが難しいのか」や、「どのような誤りが多いのか」を中国人日本語学習者向けに行ったアンケートを基に考察し、分かりやすく覚えやすい漢字の学習方法を提示する。

1	日本語を勉強し始めたばかりの時、同じ漢字でも、日本語と中国語で意味が異なる漢字があることを知っていましたか。
2	知っていた意味にチェックをしてください。ほかにもある場合、「その他」に書いてください。*問1で「知っていた」と答えた方のみ。複数回答あり。
3	過去に、意味を間違えて漢字を使用したことはありますか。
4	どのような場面で、何の漢字を使い間違えましたか。*問3で「ある」と答えた方のみ。
5	漢字の勉強で、1番大変なことは何ですか。

2. 調査方法

アンケート

(1) 調査日時

2024(令和6)年10月17日～10月23日

(2) 対象者

- ・学科内の中国人留学生(1年,3年)
- ・中国にいる日本語学習者(計76名)

(3) 調査方法

Google Form

(4) 質問

3. 調査結果

問1より、「知っていた」と答えた割合が、76.3%と、4分の3を占めることが分かる。(図1)

問2より、59件の回答があり、「丈夫」、「謝」、「走」などは認知度が高く、「勉強」、「手紙」、「雑種」などは認知度が低いことが分かる。(図2)

問3より、約半数である42.1%の人が、「漢字を誤用した経験がある。」と答えた。(図3)

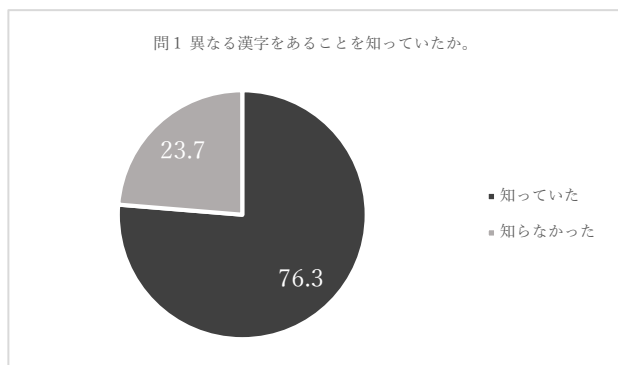


図 1

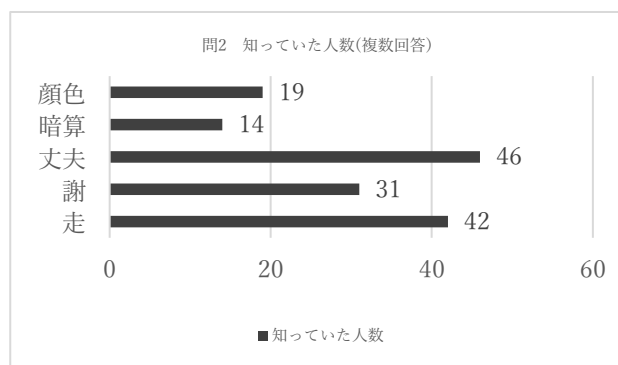


図 2

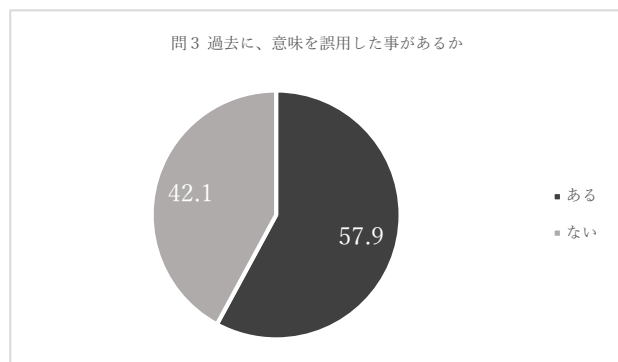


図 3

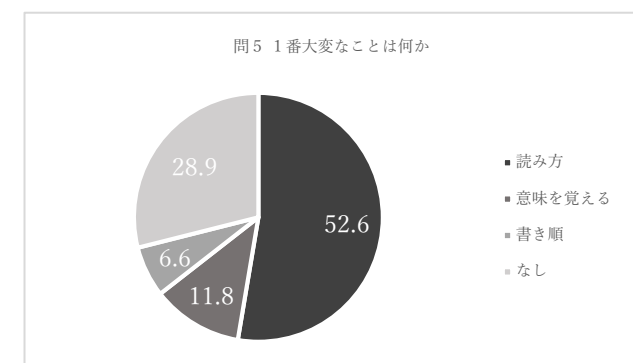


図 4

問4は自由記述にしたところ、名の書き込みがあった。代表的なものを以下に示す。「謝るを、感

謝の意味で使っていた。」のような反対の意味を持つ漢字の誤用や「新聞はテレビのニュースではなく、紙の報道」といった比較的類似している意味の場合でも誤用していることが分かる。問5より、漢字の「読み方」が大変だと感じる人が52.6%と、1番多いことが分かる。そして次に「意味を覚える」ことが挙げられる。

4. 考察

調査によって、中国語母語話者の日本語学習者の多くは、日本語を初めて学習する際に、同じ漢字でも日本語と中国語では意味が異なることを知っているが、調査回答者のほぼ半数が漢字の誤用をしたことがあることが分かった。つまり、普段漢字を使用する彼らにとっても、漢字は容易なことではない。そこで、筆者らは、彼らに向けて、漢字の学習方法を以下に示していく。

(1)対照法:日本語と中国語の漢字の意味や使い方の違いを、対照的に学習する方法である。例えば、「走」や「丈夫」のように具体的な漢字について、日本語と中国語のそれぞれの意味や用例を比較することで、誤用の防止につながる。

(2)復習:何回も繰り返し練習をし、読み方や意味の定着を図る方法である。フラッシュカードやアプリなどを利用して、定期的に復習することで、忘れやすい読み方や意味を定期的に確認できる。

6. まとめ

異なる文化的背景が、同じ漢字でも異なる意味を持つことに影響を与えている。これにより、中国語母語話者の日本語学習者にとって、漢字の意味や用法の違いは大きな障害となっている。また、日本語特有の読み方が学習の難しさに拍車をかけている。したがって、効果的な学習をするためには、意味や文脈の違いを明確に意識することが必要だ。

7. 参考文献

太田陽子編著(2021)『超基礎日本語教育のための日本語学』くろしお出版